

教育計画

イ) 教育目標

個性と創造性の伸長を図り、豊かな人間性を育むとともに、専門的な知識と技術を習得させ、時代の進展に柔軟に対応できる人間を育成する。

ロ) 平成30年度重点目標

- 自ら考え、判断・表現し、生涯学び続ける生徒の育成
- 自らを律し、将来の自立に向けて切磋琢磨する生徒の育成
- 自らの目標を具現化し、自己実現を目指す生徒の育成
- 地域とともに歩む「開かれた学校づくり」の推進
- これからの時代に対応した学校経営の推進

ハ) 平成30年度の具体的な取組

重点目標を達成し、もって教育目標を達成するために、教職員が一体となって学校の活性化に取り組み、地域から愛され信頼される、特色ある学校を目指す。

(1) 学習指導

- ① 家庭学習習慣の育成と、基礎学力の育成・伸長を目指し、予習・復習や週末課題と小テストの連動した取組を展開する。
- ② 自ら考え、判断・表現できる人材の育成を目指し、授業研修を充実させる。
- ③ 自ら考え、判断できる人材の育成を目指し、朝読書や図書館の積極的利用を推進する。
- ④ 学習を深め、高度な技術を習得させることを目指し、実験・実習をさらに充実させる。

(2) 生徒指導

- ① 確かな規範意識を育成するとともに、基本的な生活習慣を確立し、心身の健全な育成を図ることを目指し、平素の生徒指導をきめ細やかに展開する。
- ② 交通事故を防止するため、交通安全指導を徹底する。
- ③ 自主的・自立的に行動できる生徒の育成を目指し、部活動や生徒会活動の活性化を図る。
- ④ 多様な生徒に対応するために教育相談活動や個別面談を充実させ、外部機関とも連携しながら、チームとして生徒への対応にあたる。

(3) 進路指導

- ① 望ましい職業観や勤労意欲の育成を目指し、進路学習やインターンシップの充実を図る。
- ② 広い視野に立って主体的に進路を選択する能力の育成を目指し、三カ年を見通した進路指導を計画的に実施する。
- ③ 生徒・保護者に向けた進路情報の提供について、内容の精選とさらなる充実を図る。
- ④ 外部模試を有効活用することで、進路指導におけるPDCAサイクルを確立させる。

(4) 健康指導

- ① 生徒の健康保持、増進を図る。
- ② 保健衛生、健康管理に関する意識の向上を図る。
- ③ 教育相談・特別支援教育の充実を図る。
- ④ 学校環境衛生の整備に努める。

(5) 地域連携と地域貢献

- ① 教育活動全般を通して、地域復興に貢献できる人材の育成を図る。
- ② 地域との連携を視野に入れた、防災安全体制と防災安全教育の再構築を行う。
- ③ 地域の各種行事に積極的に参加し、地域住民との連携を促進させる。
- ④ 他校種との連携強化を目指し、出前授業等の取組を充実させる。
- ⑤ PTA行事やHP・各種広報誌を通じて、学校情報を積極的に発信する。

二) 各科教育目標

情報海洋科

1. 学科の目標

通信・電子・情報及び海洋に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、高度情報化社会並びに海洋利用事業の発展に対応できる人材を育成する。

2. 類型の目標

(1) 海洋類型

海洋に関する知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

(2) 情報電子類型

通信・電子・情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、高度情報化・エレクトロニクス社会に対応できる能力と態度を育てる。

産業経済科

1. 学科の目標

食品の製造から管理、流通、販売までに関する基礎的・基本的な知識や技術及び情報処理に関する様々な技術を習得させ、食品を中心とする産業経済に広く対応できる人材を育成する。

2. 類型の目標

(1) 食品開発類型

食品・栄養・環境化学などに関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させ、食品産業に対応できる能力と態度を育てる。

(2) 食品ビジネス類型

情報処理・会計処理などに関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させ、食品を中心とする流通経済に対応できる能力と態度を育てる。

機械技術科

1. 学科の目標

機械・電子・情報処理・原動機に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、創造的思考力を養い、『メカトロニクス時代の機械・自動車・船舶業界の技術革新に対応できる実践的技術者』を育成する。

2. 類型の目標

(1) 機械システム類型

機械・電子に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、先端技術全般に広く対応できる能力と態度を育てる。

(2) エンジンシステム類型

機械・原動機に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、先端技術全般に広く対応できる能力と態度を育てる。

専攻科漁業科

海技従事者免許状三級海技士（航海）以上の資格を取得し、船長及び船舶職員となる技術者を養成する。

専攻科無線科

現代の新しい情報通信技術に対応できる専門的な知識と技術の習得し、上級無線従事者等の資格を取得させ、関係する産業の発展に寄与できる人材を育成する。